

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユタカ技研  
コード番号 7229 URL <http://www.yutakagiken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大野 仁

TEL 053-433-4111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	149,124	5.1	8,598	8.6	9,209	12.5	5,557	13.9
26年3月期第3四半期	141,914	13.2	7,918	37.1	8,188	38.5	4,878	54.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 11,334百万円 (17.6%) 26年3月期第3四半期 9,641百万円 (132.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	375.03	—
26年3月期第3四半期	329.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	136,544	76,518	48.2	4,437.12
26年3月期	122,028	66,293	46.5	3,829.30

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 65,752百万円 26年3月期 56,745百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	6.2	11,000	△1.8	11,000	△4.0	6,200	△3.6	418.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有

新規 一社 (社名) サウスキャロライナ・ユタカ・テクノロジー  
、除外 1社 (社名) ーズ・インコーポレーテッド

(注)詳細は添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	14,820,000 株	26年3月期	14,820,000 株
27年3月期3Q	1,296 株	26年3月期	1,251 株
27年3月期3Q	14,818,721 株	26年3月期3Q	14,818,814 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果により緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税増税に伴う個人消費の落ち込みや円安による原材料価格上昇傾向等の懸念材料もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。一方、海外では欧州経済の低迷や中国経済が景気減速基調で推移しましたが、米国経済の堅調な推移などを背景に全体的には緩やかな回復基調が続きました。

このような環境のなか、当社グループは、国内市場における顧客からの受注減少や車種構成差等による影響があったものの、主に海外市場における顧客からの受注増加に加え、為替相場が円安に進んだことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,491億2千4百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益85億9千8百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益92億9百万円（前年同期比12.5%増）、四半期純利益55億5千7百万円（前年同期比13.9%増）となりました。なお、特別損益において平成26年6月9日に公表した米国子会社の清算終了に伴う為替換算調整勘定取崩損ならびに平成26年7月に旧高丘製作所の土地及び建物等の売却に伴う固定資産売却益を計上しております。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

国内においては、費用削減施策を継続展開してまいりましたが、顧客からの受注減少や車種構成差等により、売上高454億2千1百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益5億8千6百万円（前年同期比71.9%減）となりました。

(北米)

顧客から受注増加や円安効果に加え、ユタカ・テクノロジーズ・デ・メキシコ・エス・エー・デ・シー・ブイの稼働が開始したことにより、売上高687億6百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益18億3千6百万円（前年同期比328.9%増）となりました。

(アジア)

インドネシアにおける四輪事業の稼働開始により増収となったものの、タイにおける減産により、売上高197億3千9百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益19億4千2百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

(中国)

顧客からの受注増加に加え、円安効果もあり、売上高274億8千5百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益45億3千2百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

(その他)

顧客からの受注が減少したことにより、売上高46億3千8百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失1億4百万円（前年同期は営業利益2億1千4百万円）となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上高は、外部顧客への売上高とセグメント間の内部売上高又は振替高の合計であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産やたな卸資産、受取手形及び売掛金が増加しましたが、主には円安による為替の換算差で外貨建て資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ145億1千5百万円増加し、1,365億4千4百万円となりました。

また、負債につきましても、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加しましたが、総資産と同様、外貨建て負債が為替の換算差で増加したことにより、前連結会計年度末に比べ42億8千9百万円増加し、600億2千5百万円となりました。

純資産も、利益剰余金の増加に加え、為替換算調整勘定が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ102億2千5百万円増加し、765億1千8百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月24日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、サウスキャロライナ・ユタカ・テクノロジーズ・インコーポレーテッドは清算終了したことにより、連結の範囲から除外しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末における連結子会社数は16社となりました。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が76百万円減少、退職給付に係る負債が576百万円増加、利益剰余金が426百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,052	21,552
受取手形及び売掛金	23,299	24,821
製品	3,249	3,698
仕掛品	3,465	4,095
原材料及び貯蔵品	13,004	15,936
繰延税金資産	801	581
その他	2,882	4,709
流動資産合計	67,755	75,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,180	29,665
減価償却累計額	△13,996	△13,737
減損損失累計額	△251	—
建物及び構築物 (純額)	14,932	15,927
機械装置及び運搬具	81,892	89,099
減価償却累計額	△59,433	△64,998
減損損失累計額	△15	—
機械装置及び運搬具 (純額)	22,442	24,100
工具、器具及び備品	21,674	25,070
減価償却累計額	△19,684	△22,074
工具、器具及び備品 (純額)	1,989	2,996
土地	7,275	6,853
リース資産	313	324
減価償却累計額	△146	△159
リース資産 (純額)	166	165
建設仮勘定	3,910	7,411
有形固定資産合計	50,717	57,455
無形固定資産		
投資その他の資産	372	462
投資有価証券	66	70
長期貸付金	48	32
長期前払費用	571	566
繰延税金資産	1,747	2,077
その他	698	506
退職給付に係る資産	76	—
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	3,183	3,228
固定資産合計	54,273	61,146
資産合計	122,028	136,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,194	23,059
短期借入金	9,866	12,548
リース債務	73	81
未払法人税等	1,116	827
賞与引当金	1,524	1,089
役員賞与引当金	22	—
その他	6,582	7,625
流動負債合計	41,380	45,231
固定負債		
長期借入金	10,590	10,353
リース債務	105	96
繰延税金負債	1,387	1,818
退職給付に係る負債	1,982	2,271
役員退職慰労引当金	90	103
その他	198	151
固定負債合計	14,355	14,794
負債合計	55,735	60,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	565	565
利益剰余金	57,876	62,429
自己株式	△1	△1
株主資本合計	60,194	64,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
為替換算調整勘定	△1,595	2,647
退職給付に係る調整累計額	△1,848	△1,639
その他の包括利益累計額合計	△3,449	1,004
少数株主持分	9,547	10,766
純資産合計	66,293	76,518
負債純資産合計	122,028	136,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	141,914	149,124
売上原価	122,548	128,676
売上総利益	19,365	20,448
販売費及び一般管理費	11,446	11,849
営業利益	7,918	8,598
営業外収益		
受取利息	129	144
為替差益	539	646
その他	42	105
営業外収益合計	712	895
営業外費用		
支払利息	356	248
その他	85	36
営業外費用合計	442	285
経常利益	8,188	9,209
特別利益		
固定資産売却益	32	213
特別利益合計	32	213
特別損失		
固定資産廃棄損	28	26
固定資産売却損	3	2
特別退職金	44	196
為替換算調整勘定取崩損	—	226
特別損失合計	76	451
税金等調整前四半期純利益	8,144	8,970
法人税等	2,217	2,408
少数株主損益調整前四半期純利益	5,926	6,562
少数株主利益	1,048	1,004
四半期純利益	4,878	5,557



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,926	6,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	2
為替換算調整勘定	3,715	4,560
退職給付に係る調整額	—	209
その他の包括利益合計	3,714	4,772
四半期包括利益	9,641	11,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,252	10,010
少数株主に係る四半期包括利益	1,388	1,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	中国	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
(1)外部顧客への売上高	37,486	59,706	17,304	21,965	5,451	141,914	—	141,914
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,574	348	801	158	14	16,897	△16,897	—
計	53,061	60,054	18,105	22,124	5,465	158,811	△16,897	141,914
セグメント利益	2,090	428	2,448	2,912	214	8,093	△175	7,918

(注) 1. 「その他」の区分は、英国及びブラジルの現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△175百万円は、セグメント間取引消去△175百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	中国	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
(1)外部顧客への売上高	30,858	68,494	17,908	27,230	4,634	149,124	—	149,124
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,563	212	1,831	255	3	16,866	△16,866	—
計	45,421	68,706	19,739	27,485	4,638	165,991	△16,866	149,124
セグメント利益又は損失(△)	586	1,836	1,942	4,532	△104	8,793	△195	8,598

(注) 1. 「その他」の区分は、英国及びブラジルの現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△195百万円は、セグメント間取引消去△195百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。